

# 官民協議会の概要及び商用化推進WG で議論すべき事項

資源エネルギー庁

資源・燃料部

石油精製備蓄課

# 合成燃料官民協議会について

- 合成燃料の商用化に向けては、技術面・価格面の課題に加え、認知度向上のための国内外への発信やサプライチェーンの構築、CO2削減効果を評価する仕組みの整備等の課題に対応するため、官民が一体となって取り組んでいくことが重要である。
- これらの議論を加速させるため、2022年9月に「合成燃料（e-fuel）の導入促進に向けた官民協議会を設立。また、それぞれの課題について専門的な議論を行う場として同協議会の下に、「商用化推進WG」、「環境整備WG」を設置。

## <各会議体の関係>

### 合成燃料官民協議会 (2022.9.16~)

(事務局：資源エネルギー庁)

**構成員**：合成燃料の需要・供給に関する民間団体等  
**政府**：経済産業省、国土交通省、環境省  
**テーマ**：  
・合成燃料の導入促進に向けた総合的な検討  
・各WGにおける検討のとりまとめ  
・政府関係機関等への報告・提言 等

経済産業省 資源エネルギー庁  
総合資源エネルギー調査会  
(資源・燃料分科会) 等

必要な政策の企画・立案・実行

### 商用化推進WG (2022.12.19~)

(事務局：資源エネルギー庁)

**委員**：合成燃料の需要・供給に関する民間団体等  
**政府**：経済産業省、国土交通省、環境省  
**テーマ**：  
・モビリティ分野を中心とした合成燃料の商用化に向けたロードマップの策定  
・モビリティ分野以外における合成燃料の導入可能性の検討  
・合成燃料の導入促進に向けた広報活動 等

### 環境整備WG (今後開催予定)

(事務局：資源エネルギー庁)

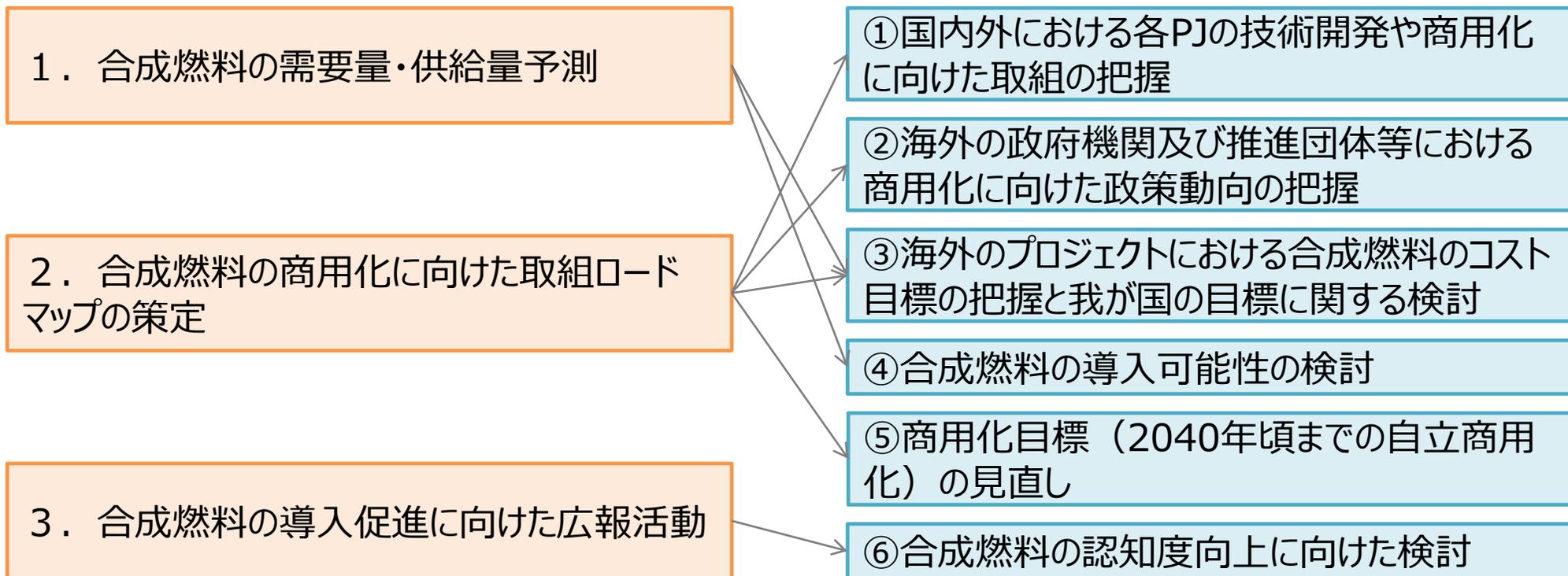
(マネージョン推進官民協議会とも連携)

**委員**：合成燃料の需要・供給に関する民間団体等、有識者  
**政府**：経済産業省、国土交通省、環境省  
**テーマ**：  
・CO2削減効果を評価する仕組みの整備  
・合成燃料の導入促進につながる枠組みの活用  
・国際的な認知度向上 等

# 商用化推進WGで議論すべき事項

- 「商用化推進WG」は、当面、合成燃料に関する国内外の技術動向や海外における政策状況を官民で共有しあい、合成燃料の需要量・供給量を予測するとともに、商用化に向けた取組ロードマップの策定を目指すこととしたい。
- 加えて、合成燃料の認知度向上策についても検討し、導入促進に向けた広報活動へとつなげていくこととしたい。

## <商用化推進WGにおいて取り扱う当面の論点と方向性>



⋮

⋮

# 商用化推進WGにおける議事の運営について

- 合成燃料（e-fuel）の導入促進に向けた官民協議会 商用化WGにおける議事の運営等については、以下のとおりとする。
  1. 本WGは、参加者の自由闊達な意見交換を担保する観点から、一般からの会議の傍聴は行わないこととする。
  2. 会議の配付資料については、会議終了後、公開が認められた資料を対象に経済産業省ホームページにて公開する。
  3. 会議の議事概要については、各委員及び事務局の確認を経て、経済産業省ホームページにて公開する。
  4. 本WGに関する事務は、資源エネルギー庁及び資源エネルギー庁が指定した者が行う。
  5. その他、個別の事情に応じた議事の運営については、事務局内で協議の上、判断するものとする。